

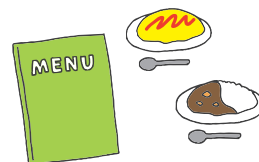
Case 14

自宅にて転倒し、右大腿骨転子下骨折となる。手術後、リハビリを計画するも、変形性膝関節症がネックとなり、歩行能力が低下。入院前に行えていた家事や外出をするため、リフティブを開始したNさんの実例

目標

Goal

- ✓ 家族と外出する
- ✓ レストランに行く



リフティブ
実施期間

2025 年
9 月開始

(週 1 回) × (9 か月間実施)

2026 年
5 月卒業

リハビリ 内容

- 両膝周辺の筋肉の柔軟性向上をはかるマッサージ
- 座った状態で重りを使用した足の運動
- 立った状態で足の運動や段差昇降練習
- 歩行練習



リハビリ中の 変化

はじめは 5m 歩行が 20 秒 40 だったが、3 か月後には 5 秒 10 と大幅にスピードアップ！重りを使用した運動では、重さに耐えきれず足が震えていたが、徐々に解消され、自宅でも杖を使用して歩くことが増えた。外出先でも付き添いなしで杖を使用し歩くことが可能に。ご家族と一緒に食事に行くことが増え、友人にも会いに行くことができた。介助ありのシャワー浴も、一人で行えるようになった。

リフティブ卒業後



リハビリを継続するために、

短時間利用ができる通所系のサービスを利用することに！

担当リハスタッフからのコメント

膝痛の増悪なく身体機能向上を図ることができ、目標であったご家族との食事や買い物等ができるようになり、とても嬉しく思います。リハビリ意欲がとても強く、1 回も休まず利用していただきました。前向きな気持ちも身体機能向上に繋がったと思います。

祝
卒業

